

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (地域の自然環境や教育資源を活用した事業)

豊かな自然の中で東御の子どもたちの元気な育ちを支える、自然体験プラットフォーム形成事業
(とうみ自然体験プラットフォーム形成事業)

とうみ自然体験プラットフォーム

【事業のポイント】

- 地域で主体的に自然体験活動を展開できるよう、人材育成を図る
- プログラムの質的な向上や、地域資源の新たな開発によって、自然体験を経験する子どもを増やすとともに地域内で持続可能な自然体験の取り組みを構築する



1. 企画

(1) 事業実施の背景

子どもを産み、育てやすい地域づくりを掲げる東御市において、健康保健・子育て支援・教育の各分野の公的支援は、質・量ともに充実が図られてきた。一方、地域力を活かして子どもたちの育ちを支える取り組みは未だ不十分であり、将来に向けて体系的に推進していく必要がある。

(2) ねらい

豊かな自然を有する東御市で、子どもと自然をつなぐ活動を推進するプラットフォームを形成することを通して、東御の子どもたちの健全育成に資する体制を構築する

2. 実施概要

(1) 実施主体

- ・子ども会育成連絡協議会 会長および地区会長
- ・東御市友遊クラブ 各地区代表
- ・東御市PTA連合会 会長
- ・公益財団法人身体教育医学研究所 所長 岡田真平
- ・信州外あそびネットワーク 代表 田口真嗣
- ・東御の子どもたちの元気な育ちを支えるネットワーク 事務局長 渡邊真也

(2) 開催実績

月 日	内 容
6月7日	ジュニア野外 下見研修
6月21日	ジュニア野外 日帰りキャンプ
7月18.19日	ジュニア野外 宿泊キャンプ
8月7日	指導者・事務局打ち合わせ
9月11日	自然体験コーディネーター研修(自然体験教育概論) 実行委員会
9月12日	ジュニア野外 思い出会
10月9日	自然体験コーディネーター研修(チームビルディング)
11月20日	自然体験コーディネーター研修(プログラミング実習)
12月10日	地域の自然体験資源発見ワークショップ 実行委員会
2月17日	マップ作成
2月19日	マップ作成
2月24日	実行委員会

(3) 推進月間の設定

(9月)市報へ自然体験コーディネーター研修開催のお知らせと参加者募集の記事を掲載。あわせてジュニア野外体験学校参加ボランティアへの呼びかけにより、プラットフォーム事業に全体を通して関わってもらう機会とした。(9月はジュニア野外体験学校思い出会と自然体験コーディネーター研修会を実施)

(4) 事例の収集と発信

・自然体験コーディネーター研修では、各団体ごとに活動の様子や方法を出し合う場面もあり、互いの活動を理解する場もなった。

(5) 意見交換の場の設定

・実行委員会開催時にはその都度進捗状況と今後の予定について確認。また、今年度の実績を踏まえて、各地区(各団体)での活動方向や次年度の事業に向けた意見交換を実施。

(6) 新たな青少年体験活動の推進方策の検討と試行

・ジュニア野外体験学校は育成会のみでなく、プラットフォーム構成団体が相互協力して実施予定。
・通学合宿や防災キャンプ等の身近で実施可能な体験プログラムの充実を図る。

3. 成果と課題

(1) 事業成果

・市内の自然体験資源の見える化(マップ作成)
・「自然体験コーディネーター」14名養成
・団体の垣根を越えた意見交換の場の設定
・地区の育成会活動にも即活かしていきたい(感想より)
・ファシリテーターの力量で個人をチームに育てられることが分かった(感想より)

(2) 事業運営上の課題

・研修をとおり、体験したり知識を得るのは為になるが、理解して自分が指導するには時間がかかる。
・各団体がそれぞれ既存の活動を行なっている中で、皆が足並みをそろえて新しい行事を行なうこと。
・体験活動を複数回行なう場合、参加できる指導者(ボランティア)がすべてに参加できるわけではない。(現場での意思統一)

(3) 事業成果の普及啓発の課題

・今年度、研修や事業に参加された方がどのように各団体の活動に活かせるか。
・マップの活用方法の周知、普及。
・他団体への関わり。(団体の垣根を越えた事業への参加や新規行事の提案等)
・新規行事の計画、実行。

4. 団体プロフィール

【団体名】長野県東御市教育委員会
【代表者】教育長 牛山 廣司
【連絡先】〒389-0517
長野県東御市県288-4

とうみ自然
体験プラット
フォーム